

ハルガヤ (英名: Sweet vernal grass)

ハルガヤ属

略号: SVG



<特徴>

- 和名: 春茅
- ヨーロッパ原産。明治時代に牧草として導入され野生化。道路際に自生
- 栄養収量と嗜好性が低い。
- 草丈は 20~60 cm と低い。乾燥すると桜餅のような香り(クマリン)を発する
- 繁殖は種子と根茎
- 5月中に出穂・開花し種を落とす。刈り取り後 40 日で種子を落とし始めるため、一度侵入すると急速に拡大する強害雑草。種子は風で拡散する
- アレロパシーにより、特にチモシー根部の生育を阻害。チモシーに対する競合力が強い
- 土壌の低 pH や低栄養でも良好に生育。耐乾性が強い
- 耐凍性はチモシーより劣る。ペレニアルライグラスと同程度
- 通常の草地更新では無くならない

収量低下

嗜好性低下

成分注意

地下茎あり

強害雑草



穂の形状と色の変化

見分けるポイント

※「植調雑草大鑑」より写真転用



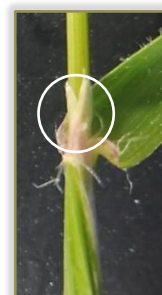
草丈が低い



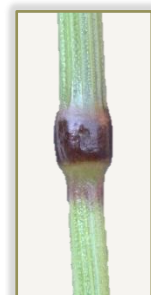
多数の茎が直立し株化



小さな止葉



葉舌が長く葉の基部縁にのみ長毛



茎に赤紫色の基部

侵入の特徴・防ぎ方

侵入の始まりは裸地。種子の落下で拡大する。

対策は、①他作物との輪作、②推奨される方法による草地更新、③競合力の強い草種の選択、④チモシーへの適正施肥と収穫作業機の清掃。

草地更新は、①前年秋~当年5月までの除草剤散布と、②播種床処理の実施、③8月播種がポイント。草種は④オーチャードグラスのように草勢が強い品種。